

緑のセンターだより

NO. 137 平成 22 年 8 月 1 日 発行

発行元: (財)札幌市公園緑化協会 豊平公園緑のセンター

キョウチクトウ

キョウチクトウ科
キョウチクトウ属

Nerium oleander var. *indicum*

桃のような花が咲き、葉がタケの葉のように狭いことから漢名がキョウチクトウ(来竹桃)の名がつけられました。もっともこれは中国での命名で、中国名を音読みしてそのまま和名になったのです。

原産地はインドから中近東といわれ、日本へは中国を経て、江戸時代に長崎、福岡に渡来したといわれています。

日本にはこの種のほかに、明治初年には地中海沿岸原産といわれるセイヨウキョウチクトウも渡来して広く栽培され、近年では新しい園芸品種も育成されるようになりました。

関東以西では屋外での栽培が見られ、樹勢が強く他の植物が育たない所でもよく育ち、また空気の汚染にも強い植物として公害問題に一役買い、一時工場地域の緑化樹の主役にされたことがあります。

植物の葉には気孔があり、呼吸や同化作用のために酸素や二酸化炭素の吸収、排出をする役目をしています。気孔はふつう葉の裏側にあり、人が両手を合わせて開いたり閉じたりするような形になっています。

キョウチクトウは気孔が引っ込んでおり、しかも孔の入り口がたくさんの毛で覆われていて、ちょうど我々の鼻孔に毛が生えているのと似ています。このことと公害に強いことと短絡的に結びつけるのは問題ですが、なんらかのつながりがあるのではないかと考えられています。

美しい花には毒があるとのたとえどおり、花びらと細長い緑の葉には、オレアンドリンとアディネリンという有毒物がふくまれているとのことです。昔は牛や馬などの家畜が食べて死んだといわれていますが、普通に栽培して樹液などを口にしなければ問題ありません。

花言葉は「ご用心」のほかに「私に近づかないで」、「危険」などで、この花に毒があることをしめしていますが、白い色の花の場合は、毒があるにもかかわらず花言葉は「恋の迷い」です。

栽培は容易ですが、品種によって寒さに強いものと弱いものがあります(北国では戸外での越冬は不可)。一般には排水のよい土であまり肥えていない、日当たりのよいところが適します。

増やし方は、一般にさし木で行いますが時期は気温が高くなる6月下旬からがよく、枝を10cm位に切り、赤玉土や砂にさします。取り木もしやすく、7~8月に枝に傷をつけてミズゴケで巻いてビニールで覆い、約1ヵ月半で発根しますので鉢あげして育てます。

(T. K)



8月の園芸作業

このコーナーの園芸作業は札幌地方での目安です。
ここに掲載した以外の作業もたくさんありますので、
ご不明な点は緑の相談までお気軽にお問い合わせください。

緑の相談受付	10:00～12:00、13:00～16:00
☆豊平公園	811-9370 月曜以外毎日
☆百合が原公園	772-3511 木曜、日曜
☆平岡樹芸センター	883-2891 水曜、土曜

◆シクラメンの植え替え

冬、温暖で夏は冷涼な気候を好むシクラメンは、高温になる夏越しの管理がポイントになります。本州の関東以西では、夏の高温多湿条件下で生育を続けたまま夏越しさせることは難しく、熱帯夜が続くと回復不可能なダメージを受け枯死してしまいます。そこで、花後の株は5月中旬から水やりを止め、葉を枯らして乾燥休眠状態で夏越しをさせているのです。

札幌でも夏は結構高温に経過する時期はありますが、どんなに暑い日でも夜から早朝までは20℃以下の涼しい環境になり、シクラメンの生育には大きな支障はありません。早春まで花を咲かせ続けた株は5月中旬過ぎから戸外管理にして、日中の強い日差しを避け(7月中旬～8月中旬)、水やり・施肥を続けて夏越しをさせるのがよく、初秋の頃からは旺盛な生育が期待できます。

植え替えの手順

植え替えは旺盛な生育が始まる8月中旬がよく、葉を落として休眠状態の株は8月下旬に植え替えすると良いでしょう。

○ 用土の準備

赤玉土(培養土) 5 : 腐葉土(ピートモス) 3 : 火山礫(軽石) 2

よく混ぜた用土に元肥(緩効性化成肥料 マグアンプ K など 3～5g/用土 10)を混入する。

○ 手順

①株を鉢から抜き取り根鉢状態にする。



鉢から抜き取る。

②葉や球根を傷めないよう根鉢の肩、周囲、底部の土を1/3程度崩し取る。

③同じ大きさか一回り大きめの鉢(プラスチック)を用意する。

④鉢底にゴロ土を入れ、株を据えて用土を突きながら周りから入れていく。

⑤鉢上1～2cmをあけて植え付ける。球根は1/3程度地表に出す。

⑥しっかり水やりを行う。



葉や球根を傷めないよう注意!

○ 植え替え後の管理

・20日程度半日陰の風通し良いところに置く。(施肥はしない)

・その後、日当たりに置き、薄めの液肥を10日ごとに与える。

・10月末まで戸外管理、その後室内の明るくて涼しいところに置く。

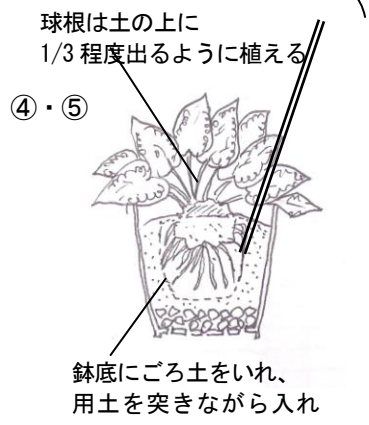
・葉組をこまめに行う。(球根の中心部に光が当たるようにするため)

○ その他

底面給水鉢に植えられているシクラメンは普通花後に普通鉢に植え替えますが、そのまま底面給水鉢を使用する場合、この時期に植え替えます。用土や植替え手順、植替え後の管理は上記に準じます。

また、底面給水鉢の普段の管理においては、鉢内のガス交換を図る必要がありますので、半月に一度、水受けを外して鉢上部からたっぷり水を与えます。

3年以上の栽培では、株の老化が著しく葉も花も少ない上、鑑賞に値しない形状になりがちです。ぜひ、新しい株の買い換えをお奨めします。



球根は土の上に
1/3程度出るように植える

鉢底にゴロ土をいれ、
用土を突きながら入れ

◆洋ラン類の夏の管理

洋ラン類は、今が生長最盛期ですので、次の点に注意して管理して下さい。

洋 ラン 名	置 き 場 所	水 やり、施 肥 など
シンビジウム	・戸外の直射日光下で、風通しの良い棚など	・水は毎日、鉢底から流れ出るまでたっぷりと与える。葉水は葉裏にもかける(葉ダニ予防)。25℃以上の暑い日は夕方にもかける。 ・液肥は、1000 倍液を週 1 回、置き肥は、発酵油粕を 4～5 粒(1 ヶ月で交換)。芽欠きは引き続き行う。
コチョウラン	・室内では窓辺のレースのカーテン越し(曇天・雨天の時はカーテンを開ける) ・戸外では 50～60%の遮光下	・水は、植え込み材料のミズゴケが乾いたらたっぷりと与える。 ・液肥は、1000 倍液を月に 2～3 回与える。 ・一番最初に咲いた花が萎れたり、花茎の先端の花が咲いたら切花にして、直ちに植え替えをする。
カトレア	・室内の窓辺のレースのカーテン越し(曇天・雨天の時はカーテンを開ける)	・水は、植え込み材料の表面が乾いたらたっぷりと与える。 ・液肥は、1000 倍液を週 1 回、置き肥は 4 号鉢以上で 1～2 個(1 ヶ月で交換)。
デンドロビウム ・ノビル系	・戸外の 50～60%遮光下 ＊樹木などに吊るしてもよい	・水は、植え込み材料のミズゴケが乾いたらたっぷりと与える。 ・液肥は、1000 倍液を週 1 回与える。 ・高芽は切り取る。 (増やす場合は鉢に植え込んでも良い。)
オンシジウム	・室内の窓辺 ・戸外の 50～60%遮光下	・水は、植え込み材料のミズゴケが乾いたらたっぷりと与える。 ・液肥は、1000 倍液を週 1 回与える。
エピデンドラム	・戸外に出し、風と日光に良く当てる	・水は、晴天の時は植え込み材料の乾き具合をみて、たっぷりと与える。雨に当てても良い。 ・液肥は、1000 倍液を週 1 回与える。翌日必ず水を与える。
パフィオペディラム	・室内の窓辺 ・戸外の 50～60%遮光下	・水は、植え込み材料のミズゴケが乾いたらたっぷりと与える。 ・液肥は、2000～3000 倍液を週 1 回与える。固形の置き肥も有効。ナメクジ、アブラムシの駆除月に 2 回。

◆野菜の軟腐病対策

軟腐病は、夏に白菜、ダイコンなどがどろどろにとけたように腐り、いやな臭いが出る病気です。

この病気は 0～40℃で発生しますが、病気の適温は 32～33℃と盛夏に多く発生します。この病気にかかると防除は困難ですから、かからないようにするしかありません。

菌は土の中どこにでもあり、植物の根の付近で増殖し、作物への作業による傷口、虫の食痕、刺し傷、気孔などから侵入し作物を侵します。

作物が元気か、弱っているかでも病気への抵抗力がかなり違い、高温多湿の時、軟弱に育ててしまうと発生が多くなります。病気を防ぐためには、以下の点に注意しましょう。

- ① ワラマルチなどをして、地温を下げて根の活力を低下させない。
- ② 排水を良くして根腐れを防ぐ。
- ③ 肥料をやりすぎない。
- ④ 虫を防除して刺し傷を作らない。
- ⑤ 芽欠きなどの作業は傷口を小さくし、時間を空けないで殺菌剤を散布する。
- ⑥ 白菜、レタスなどは高畦栽培をする。
- ⑦ 罹病した作物は圃場外に処分する。(畑に残さない)

防除剤は「ストレプトマイシン水和剤」、「オキシボルドー」などがあります。

- ・ストレプトマイシン剤 ……ハクサイ、キャベツ、バレイショ、タマネギ、レタスなどに登録があります。
- ・オキシボルドー ……キュウリ、トマト、ハクサイ、レタスなどに登録があります。

8月～9月の催しのお知らせ

豊平公園 緑のセンター 豊平区豊平5条13丁目 TEL 011-811-6568

内容	日	時間	申込受付開始日	費用・備考
園芸教室				
サボテンの秋冬の管理	9月12日(日)	13:30～	8/11(水)～	無料
展示会				
ハイビスカス展	7月21日(水)～8月8日(日)			入場無料
スイレンウィーク	8月3日(火)～8月15日(日)			
アレンジ押し花展	8月31日(火)～9月12日(日)		香穂花	
サボテンと多肉植物展	9月7日(火)～9月12日(日)		札幌カクタスクラブ	
クラフト教室				
おれ江房 小枝とおれ江のプランター	8月25日(水)	10:00～	8/11(水)～	2,000円

平岡樹芸センター 清田区平岡4条3丁目 TEL 011-883-2891

講習会	内容	日	時間	申込開始	費用・備考
オンコの整姿剪定		8月22日（日）	10：00～	8/11(水)～	300円
			13：30～	〃	〃
モミジとカエデの剪定		9月5日（日）	10：00～	〃	〃
			13：30～	〃	〃
木を小さくする		9月11日（土）	10：00～	〃	〃
			13：30～	〃	〃
クラフト教室					
ガラスベースに飾るアレンジメント		8月19日（木）	10：00～	8/11(金)～	3,500円

百合が原公園 緑のセンター 北区百合が原公園210 TEL 011-772-3511 <http://www.sapporo-park.or.jp/yuri/>

展示会	日	料金
子ども向け植物展	7月28日(火)～8月16日(日)	
多肉植物展	8月17日(火)～8月29日(日)	大温室入館料130円
ダリア展	9月7日(火)～9月17日(日)	

その他の公園

イベント	内容	日	費用	問い合わせ
子リス工房おとなの日	「森からの贈り物」	8月19日(木) 10:00～	500円	
子リス工房こどもの日	「木の実で作る立体昆虫図鑑」	8月15日(日) 10:00～ 13:30～	300円	西岡公園582-0050
モエ夏HIDAMARIコンサート	12時、14時、16時30、18時からそれぞれ約45分演奏	8月14日(土)・15日(日)	100円	モエ沼公園 790-1231
平岡公園 夏のにぎわいフェスタ	自然体験(川に入ります。)	8月14日(土) 9:30～	100円	平岡公園 881-7924
花づくり講習会	「ハボタンを種から育てよう」	8月20日(金) 9:30～	500円	厚別公園 894-1144

豊平公園 緑のセンター 公式ウェブサイト <http://www.sapporo-park.or.jp/toyohira/>

※「緑のセンターだより」バックナンバー公開中 ※